

科目分類	助産学基礎科目			開講時期	1年	前期
科目名	周産期の基礎科学（薬理・栄養）					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	山崎 弘美					
メールアドレス	h-yamazaki@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	授業後			

授業目的	<p>1) 母子のおかれている環境および食生活や服薬の現状を理解し、それらが出産・育児に与える影響を説明できる。</p> <p>2) 妊娠の各期に応じた栄養摂取の重要性を理解し、説明できる。</p> <p>3) 妊産褥婦・乳幼児に必要な栄養に関する知識を習得し、栄養状態の評価ができる。</p> <p>4) 妊娠期に用いられる薬物の特徴および母子に及ぼす影響が説明できる。</p>
授業概要	<p>母子ともに健康な出産及びその後の経過を実現するためには妊娠前からの環境や栄養について理解することが重要である。また、薬物使用による胎児への影響については妊娠期別に正しい知識が必要である。授業ではこれらについての基礎的知識を学ぶ。</p>
授業計画	<p>第1回 母子と生活環境（物理的要因、化学的要因）</p> <p>第2回 母子と栄養1（母子の健康と食生活、栄養状態の評価）</p> <p>第3回 母子と栄養2（ライフステージと栄養）</p> <p>第4回 課題発表およびテスト1</p> <p>第5回 母子と嗜好品・薬物（タバコ、アルコール、依存性薬物）</p> <p>第6回 妊娠期に使用する薬物とその影響</p> <p>第7回 分娩期・授乳期に使用する薬物とその影響</p> <p>第8回 課題発表およびテスト2</p>
教材 参考文献等	<p>教科書</p> <p>助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学(医学書院)</p> <p>助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期(医学書院)</p> <p>助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期(医学書院)</p>
成績評価 基準・方法	<p>課題（50%）、筆記試験（50%）により総合的に評価する。</p> <p>合格基準 60%以上</p>
履修要件	特になし
留意事項 その他	無断欠席は厳禁です。

